



東京五輪を、

しんけん応援する

おいさん達!

— 吉田寛の新春小噺 —



おいいたのおいさん達が居酒屋で飲む時の話題は、スポーツが多い。政治や経済などの難しい話は、よだきいからである。さてスポーツもいろいろあるが、今年のラグビーワールドカップも大分開催の試合もあって、大いに盛り上がるだろうが、来年の東京五輪もある。スポーツ好きのおいさん達にはたまらない日々が続くわけだ。

おいさん達は当然、昭和の生れであり、少年時代に東京五輪を白黒テレビで観たしも多いので、当時の思い出から話が始め



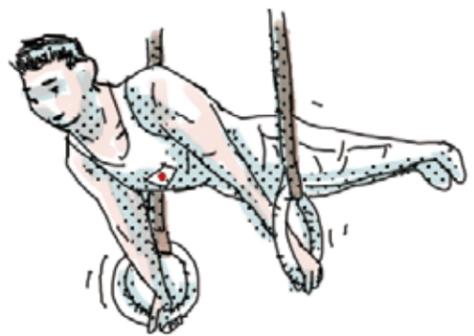
るのである。「五輪の花ち言うたら、やっぱ、**マラソン**やなあ。『裸足の哲人』アベベやなあ。おれも運動会ん徒競争は裸足じ走りよった。速かったんど」

「アフリカ勢は走るの速えけど、最近日本選手も男女とも速うなつたのう。メダルが楽しみやわい。」

そらそうと、お前、なんか他んスポーツはしたことあんのか?」「中学ん時、**水泳部**やった」「へー、そげえ肥えちよつち、泳ぎきったんか?」「中学生ん時は瘦せちよつた。南大分んトビウオち呼ばれちよつたんど」



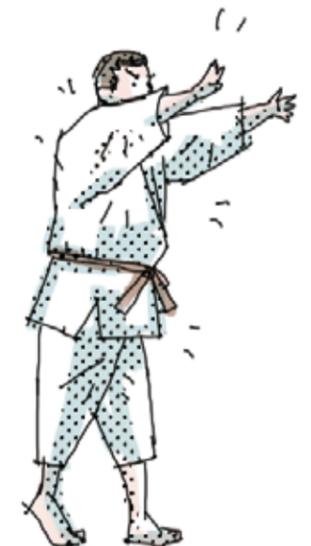
「また、ちようしんかん言うちから。タチウオじゃねんか?」「立ち泳ぎは、難しいんど。**シンクロ**んお姉さん達、笑顔じ演技しよるけど、あれ、しんけんさちいんじゃけん」



「お前がシンクロしよる姿想像したら、気色悪いわい」「そう言うお前は、何しよつたんか?」「おれは、こつ見えてん高校ん時、**体操部**やったんど」「へー、種目は?」

「床運動に、あん馬、つり輪、跳馬、平行棒、鉄棒と、ひと通りやった」「へー、今じゃ見る影もねえのう」「そらお互い様じゃ。そやけど、体操ニッポンは未だに健在じゃ。金メダルいっぱい獲るじゃろうのう」

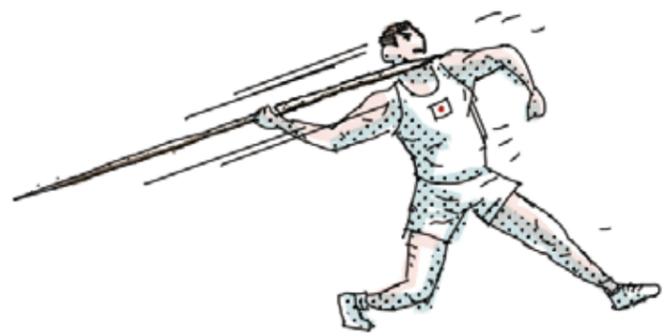
「金メダルちゆうたら、**レスリング**とか**柔道**の格闘技も期待でくるのう」



「おれは、運動足袋じ走りよつたけど、あんまし速うなかつた」「馬ん糞を踏んだら走りが速うなるとか言いよらんかっただか?」

「おれも、ねぎま一本!」「それと麦焼酎ポトル一本!」「そげえ、一本、一本、言いなんな。わしが何回も負けたごたるやん。そやけどうちん母ちゃんは、**投てき**ち言うんかなあ、砲丸投げ、円盤投げ、ハンマー投げとかん…」

「わしん得意な投てき競技?」



「なげやりじゃ」「そら、**やり投げ**じやろうが」この夫婦漫才のネタは何回聞いても笑わかされるのである。なしか!

コピーライター 吉田寛

文化放送ラジオCM大賞グランプリ、全国FM放送CM大賞グランプリ受賞歴を持ち、平成11年国民文化祭大分大会の民話劇「吉四六・雨乞い」脚本・演出や、NHK福岡放送局「南こうせつ」の金印テレビ、OBSラジオ「夕方なしか」等の構成・出演もこなすマルチクリエイター。大分弁と焼酎をこよなく愛す。